



2月25日14時より博多第三階成ビルにおいて、安全キャラバン報告学習会を開催しました。これは、本部指示のもと、全国で行われている運動の一環であり、九州本部は、各地区の行動を全体のものとして認識を一致させ、今後の運動に生かしていく集会として取り組みました。



国労九州

復第 71号

福岡市博多駅東
3丁目9番3号
ニココーハイツ 1003
092-483-1515
発責 眞子俊久
編責 岩元孝信

・組織拡大に
全力をあげよう！

・大胆に国労
加入を訴えよう！

2月22日に行動を取り組んだ。昨年香椎線でアンサーシステムを導入し、駅を全て無人化したため今回は香椎沿線で宣伝車を

また、前段には、国労のJ R 30年検証委員会の一員でもある熊本学園大学の香川先生から「規制緩和と安全性 貸し切りバスと事例より」を問題提起され学習しました。バスの規制緩和で中小零細会社が多数参入し、料金の値引きが行われた。そのしわ寄せは、運転手の賃金ダウン長時間労働となり、その結果事故が多発している実態が報告されました。その後各地区より報告を行い、書記長の集約後、団結ガンバリウを三唱して集会を終わりました。

使用し、駅前宣伝、地域宣伝を行った。今も、地域住民からは説明不十分として無人化反対の会などが出来ている。急な車椅子の介助などで運転士に重くのしかかっている現状もあり問題も多い。昼間の時間帯であったので、利用者は少なかったが、20分間隔で列車が駅に着き、宣伝行動がそれなりにアピールできたと思う。



○北九州地区の取り組み
2月9日に共闘関係にJ Rの現状を報告。その後中間駅・二島駅若松駅で宣伝行動を行った。若松駅と新入駅間7駅が無人化さ

れアンサーシステムが今導入されることから筑豊線での行動となった。宣伝終了後、若松駅無人化反対の会の代表と会い、お互いの到達点と意見交換を行った。代表からは、J Rの対応があまりにも理不尽であり冷たい対応であったことから納得できない。自治体や超党派の市議なども反対したため、中間駅若松駅は朝の2時間だけ有人となったが満足していない、引き続き奮闘していくと決意されていた。

2月9日地区労の宣伝車を使用して、大村線沿

○佐賀地区の取り組み
2・18原発集会でチラシ配布行動を行った。集会参加者が多かったためチラシを多く配ることが出来た。集会終了後、唐津線沿線で宣伝行動を行い、地域住民にアピールを行った。

○鹿児島地区の取り組み
1月28日志布志の鉄道退職者の会へ訴え。OBからもローカル線廃止では、日南線がやばいと意見があった。2月9日に中央駅で宣伝行動。16日には日置市地域フォーラム集会で報告、訴えを行い、またJ R宿舎へのチラシ配布も行った。労使共同路線が現在の状況を作り出したと思う。組合は対等の立場で対応し情報発信していかねばならない。

通院・入院・抗がん剤・診断一時金

生きるためのがん保険 Days

女性特有のがんにも手厚い

はじめてダック

選ぶなら、がんの治療に幅広く対応した**がん保険**。

「生きる」を断る。

Affac

アフラック (Affac) は代理店制度を採用しております

アベニール株式会社

〒105-0004 東京都港区芝浦5-17-6 交通ビル5F
TEL: 03-3437-6810

アフラック (Affac) は生命保険会社です

〒163-0406 東京都豊島区池袋2-1-1 豊島三井ビル
TEL: 03-5561-0000 受付 03-5561-0000
※保険料 2016-0000-1600004 6810